

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 26日	
滋賀県知事 殿	
提出者 住 所 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪8F 氏 名 名工建設株式会社 大阪支店 執行役員支店長 大竹 淳次 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6350-3730	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	名工建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪8F
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高168億円
③従業員数	168人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の処理は委託契約業者に委託を行う。がれき類・コンクリート等、再資源化が可能な物については出来る限り再資源化を行う。再生が不可能なものについては最終埋立・焼却処分とする。

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別添資料による	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
可能な限りの分別を実施			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
建設現場の工事量により排出量は変わりますが、再利用できるものについては出来る限り再利用する。			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物について再生が可能な物は分別を行い再生処理とした。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 管理型混合廃棄物について、今まで以上に意識を持って分別・再生処理に取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現段階で実施予定は無い		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 実施をしていない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 現段階では実施予定は無い			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現段階では実施予定は無い		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 極力電子マニフェストの取り扱いはある業者に委託を行っている。また、優良認定業者との委託契約を推奨している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
社内での建設副産物パトロールを継続して実施を行い、適正管理に努める。 処理場の現地確認を継続して取り組んでいく。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の種類 現状と計画	がれき類		廃プラスチック		汚泥		木くず		安定型混合廃棄物		管理型混合廃棄物		石綿含有産業廃棄物						
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)																	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																			
排出量	5,571.0 t	5,500.0 t	47.4 t	40.0 t	80.9 t	80.0 t	77.6 t	70.0 t	1.3 t	5.0 t	91.1 t	80.0 t	10.9 t	10.0 t					
これまでに実施した取組																			
今後実施する予定の取組																			
産業廃棄物の分別に関する事項																			
分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組																			
今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組																			
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																			
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量																			
これまでに実施した取組																			
今後実施する予定の取組																			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																			
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量																			
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量																			
これまでに実施した取組																			
今後実施する予定の取組																			
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量																			
これまでに実施した取組																			
今後実施する予定の取組																			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																			
全処理委託量	5,571.0 t	5,500.0 t	47.4 t	40.0 t	80.9 t	80.0 t	77.6 t	70.0 t	1.3 t	5.0 t	91.1 t	80.0 t	10.9 t	10.0 t					
優良認定処理業者への処理委託量	828.5 t	900.0 t	32.0 t	35.0 t									9.9 t	10.0 t					
再生利用業者への処理委託量	5,571.0 t	5,500.0 t	5.6 t	6.0 t	80.9 t	80.0 t	77.6 t	70.0 t	0.8 t	2.0 t	46.9 t	50.0 t							
認定熱回収業者への処理委託量																			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																			
これまでに実施した取組																			
今後実施する予定の取組																			